

かがみいし 議会だより

No.161
平成28年8月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒981-0401 福島県若槻郡鏡石町
不寄沼345
電話0248(62)2110
印刷 南水山印刷



ポンプ車の部 町代表 第3分団

第54回県消防協会須賀川支部消防操法大会 日頃の訓練 これが 市町村の防火!!



小型ポンプ車の部 町代表 第6分団

目次

- 6月定例会報告 … 2
- 一般質問 …… 3~7
- 審議の結果 …… 8, 9
- 議員研修報告 …… 9
- 町民の声 …… 10
- 編集後記 …… 10

町民の声 環境と地球温暖化対策 鏡石環境を考える会 会長 佐藤義和



鏡石環境を考える会
会長 佐藤義和さん

町民の皆様には日頃から、より良い環境づくりのためにご協力を頂き、誠にありがとうございます。

私たちの「鏡石環境を考える会」は、平成11年4月1日に「自然にも人にも優しく、地域住民にとって住み良い環境づくりと健康で明るいまちづくりを進めること」を目的に、町内の有志によって創立されました。

現在個人会員47名と3団体の会員があり、環境に関する学習会やボランティア活動等を行っています。

さて、日本の家庭や事業所から排出される「ゴミ」の量は、



東日本大震災「ともし火の集い」も実施

一年でどれくらいになるか、ご存知でしょうか。何とその量は年間約4千5百万トンにもなり、これは東京ドームに入る120杯相当の量となります。その処理費用には年間2兆円かかり、税金でまかなわれています。こうしたことから分かるように、ごみの減量化とリサイクルは大きな問題です。

町内でも道路沿いのポイ捨て

てや、不法投棄は後を絶たず、町の美観とイメージが損なわれていきます。

私たちの会では、こうした問題について学習会を重ねるとともに花いっぱい運動、ゴミ拾いの実践活動、マナー啓発や清掃活動等環境保全の取組を行っています。また、町のイベントにも積極的に参加しています。

今後も町当局のご指導やご協力を頂いたり、関係団体のご協力を頂きつつ、住み良いまちづくりのため、活動を進めていきたいと考えています。

町民の皆さん、町職員そして町議会議員の皆様もゴミの減量化・ポイ捨て・不法投棄等環境問題について積極的に考え、町の美観形成とイメージアップに努めていただければ幸いです。

この度、私たちの活動が県に認められ「うつくしま、ふくしま環境顕彰」を頂くことができました。これは会員の喜びであると同時に、今後の励みとなりました。皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

「町民の声」にこたえて

町議会では以前久来石の菊地清さんから寄せられた町民の声「現場で学ぶ…」にこたえて、6月15日(水)各常任委員会所管の施設を現地視察調査しました。これからも町民の声にこたえる「開かれた議会」を目指します。



幼稚園等を視察(総務文教委員会)



福祉施設を視察(産業厚生委員会)

編集後記

昨年6月に改正された公職選挙法により選挙権が18歳以上約240万人に与えられるようになり、投票率などで話題となった。

高校によっては選挙管理委員会の出前講座を実施し、選挙への理解度を高める授業を展開するなど取組んだ。

投票率は思うほど伸びず、今後の投票率アップと政治への関心度をどう高めるかが課題となった。

わが町でも、今秋に2回目となる子ども議会が開催される予定だが、このように政治に関わる機会を増やすことも大切なことだと考える。

発行責任者
議長 渡辺 定己

広報編集委員会
委員長 小林 政次
副委員長 木原 秀男
委員 橋本 喜一
委員 古川 文雄
委員 菊地 洋
委員 長田 守弘

中学校大改修

第2期

契約等議決

一般質問には5人が登壇

第4回鏡石町議会定例会は6月10日（金）から17日（金）まで開かれ、平成27年度予算の専決処分や第2期となる中学校大規模改修工事請負契約等合わせて38の案件を審議し、議決しました。また、一般質問は6月13日（月）に行われ、5名の議員が登壇。多岐に渡り町政を質しました。



改修された中学校（1期工事）

木原議員監査委員に

議会選出の監査委員であった井土川議員の監査委員辞職に伴い、監査委員選任同意の議案が提出され、原案どおり木原秀男議員の選任を同意しました。任期は議員の任期となります。

会議規則改正等 議員発議3件提出

今定例会には吉田孝司議員による議員発議3件が提出されました。発議は「鏡石町議会会議規則の一部を改正する規則の制定」、「福島大学農学系学部誘致特別委員会の設置」、「地域包括ケア推進特別委員会の設置」で、これら3件は議会運営委員会（古川文雄委員長）に付託し審議しました。6月17日（金）本会議において古川委員長から委員会審議報告があり、採決の結果否決となりました。

繰越13で震災は1件

今定例会では専決処分等16件の報告があり、一般会計及び特別会計合わせて13事業の繰越明許及び事故繰越の報告がありました。この中で東日本大震災関連の繰越事業は除染事業の1件だけとなり、震災の影が薄くなってきたことが窺えました。

また、繰越した事業の中には「自治体情報セキュリティ強化対策事業」のように国からの情報が示されずに、町事業として執行されずに繰越されているものもありました。

中学校大改修 2期工事契約議決

校舎の耐震化と大規模改修を進めている鏡石中学校の第2期工事の請負契約締結議案は、定例会開会日の6月10日（金）に提出され、次の内容で原案どおり可決しました。
○契約の目的
鏡石町立鏡石中学校校舎

水道給水条例改正

水道水の安定供給のために第5次浄水場拡張計画が進められており、この財源として水道料金を改正する議案が提出され、原案どおり可決しました。これにより28年10月以降の水道料金が、概ね20%値上がりすることになりました。

大規模改修工事（2期）
○契約の方法
制限付一般競争入札

○契約の金額
2億3千3百28万円
○契約の相手方
国分木材工業株式会社
代表取締役 国分久義

一般質問

- 上水道拡張の進行はどうか
- 福大農学部誘致の内容は
- 新たなほ場整備はどうするのか

今泉文克議員

質問

上水道事業審議会の答申と水道料金改正の推移及び今後の予定は、どうなっているか。

上下水道課長

水道料金は過去の実績と社会経済情勢の推移に基づき、合理的な給水需要予測、施設計画を前提とし営業費用と健全な運営を確保するため、資本費用を加えて算定される。

質問

上水道事業の第5次拡張計画の進行状況及び今後完成までの日程、予算等はどうなっているか。

上下水道課長

第5次拡張事業は平成21年7月に変更認可、22年度から事業が開始され27年度末で進捗率は21.8%となっている。全体予算は約51億円で、期間は31年度までである。

質問

福島大学農学部の鏡石誘致について、町村会及び議長会連名で誘致要望書を提出したが感触はどうであったか。

町長

福島県には大学の農学部が無い。5月1日付で大学に設置準備室ができ、担当教員も決まったばかりで判断できる段階ではない。

質問

今後の誘致に向けた町当局の議会の推進計画また、天栄村や近隣市町村の動向はどうか。

町長

誘致要望書は5月11日に提出した。現在7地域が提出している。全国に先駆けたい新しいスタイルの農学部を目指すとの事。今後、天栄村と協力して情報収集に努めたい。

質問

成田ほ場整備事業が完了し、地域が大きく変わり良くなったことは喜ばしい。事業の実績細及び本町のほ場整備率は、どうなっているか。

産業課長

平成28年1月18日付で換地処分となり、1月29日に県報で告示された。事業実績は11年度工事着手以来17年間で、事業費42億7800万円、田畑が656筆、154町歩が整備された。その間、鈴の川も改修された。町のほ場整備率は51%である。

質問

新たな整備計画があるが、その計画内容や推進状況あるいは町としての対応策は、どのように考えているのか。

産業課長

高久田地区において地区基盤整備事業推進協議会を設立し、地権者から同意を得ている。受益面積は59.1ha、総事業費14億7800万円。平成36年度の完成を目指している。町としては矢吹原改良区

と協議を進め、受益者負担金の軽減が図られるよう検討努力したい。

質問

事業費14億は少なく感じるが、地区計画との整合性はあるのか。議会にも計画を示してほしい。また、関連事業はあるのか。

産業課長

旧田機能が悪いので、旧田部分を中心に事業立ち上げし、水利との整合性を図りたい。住居計画とは重ならないと考えている。関連事業については現在ないが、今後精査検討したい。



高久田地区でほ場整備を



- 防災福祉施設と庁舎はどちらを優先するのか
- 除染は2重発注方式できないか
- 消火栓は十分設置されているか

菊地 洋議員

町長 現庁舎が手狭になってきているので、いつかは庁舎も考える必要がある。駅東地区に防災健康福祉センターを考えているが、区画整理地区内であれば買っている町有地の問題もある。優先順位としては

質問 計画では駅東地区に防災拠点となる施設を検討するとなっているが、未だ進んでいないようだ。そうしたところ役場庁舎改築の話もあるが、どちらを優先するのか。

質問 このセンターについては復興まちづくり計画に位置づけられており、防災担当、社会福祉協議会、地域包括支援センターが連携を図り、具体的な導入に向け、現在検討している。

質問 東日本大震災を経験し、今熊本地方でも、かつてない大震災が発生している。仮称防災健康福祉センターの建設計画は進んでいるのか。

質問 平成23年度以降の除染に関する年度別執行率は、どのようになっているのか。

質問 住宅除染平成25年度から3年間の執行率は25年度27.8%、26年度が68.3%、27年度は繰越事業で61.7%になっている。

質問 防災施設に関する基金として積み立てていないが、福祉基金に1億円ある。建設には色々な交付金を活用できるように検討したい。

質問 現在町では建物を建築するための関連基金は、どのくらい積立してあるのか。

質問 除染事業について、他の市町村と比較して事業執行率は高いのか、低いのか、どうなっているのか。

質問 環境省のガイドラインで、除染実施前測定は期間を開きすぎないようにすることとなっている。このため現在多くの市町村では、一体的に発注している状況である。

質問 モニタリングを先に発注して、別途線量対象地域についての除染を発注するという二重発注方式にはできないか。

質問 郡山市、須賀川市、天栄村では空間線量が高く、全面除染を発注しているため、執行率が高い。当町を含めた比較的低線量の地域では、作業範囲が局所的になるため、執行率はやや低いと思われる。

質問 市町村境における火災時の、水利の確保はどうなっているのか。

質問 町内の消防用消火栓は十分に設置されているか。未給水地区では貯水槽等、自然水利を有効に活用することになる。

質問 町内の消防用消火栓は十分に設置されているか。未給水地区の消火栓は、どうしているのか。

質問 ホットスポットがあるので、全町内を除染対象とした。東側は、0.23以下が多い。会計検査院にも資料をあげ、低線量の側溝除染もできないか、担当課、4市町村、県で会議を行った。



- うまい酒「鏡の雫」の売り出し策は
- 農作物6次化の取組みはどうか
- 除染事業の進捗と見通しは

橋本喜一議員

質問 鏡の雫の本年度の生産と、需要に対して数量は、間に合うのか。

産業課長 平成27年産特別栽培米コシヒカリ（牧場のしずく）を原料とした「鏡の雫」は、4合瓶換算で約2,800本であり、1年を通じて販売できる数量である。

質問 酒造会社、増産依頼はできないか。

産業課長 3年前に、2000本から2800本へと増産した。「牧場のしずく」は、充分にあるが、蔵元の樽が目一杯の状態である。増産の交渉は続けていく。

質問 町内の飲食店での取り扱い件数を、今後増やす見込みはあるのか。

産業課長 現在の件数は、8店舗である。

質問 今後、町商工会と協力し、取扱店舗を増やす努力をする。

質問 各種会議の乾杯酒として使ったり、飲食店への補助を考えてはどうか。

産業課長 今後、検討していきたい。

質問 鏡の雫のグレードアップ策はあるのか。

産業課長 今後、新たな6次化産品の企画や、地域活性化につながる6次化産業について、商工会事業での企画もあるので、町観光協会等と連携し、検討を進めていく。

質問 王冠のラベル等を酒造会社名等ではない、オリジナルに変更はできないのか。

町長 見た目の印象も購買には大切なので、観光協会、商工会等と検討したい。

質問 町は、農作物6次化についてどのような計画を持ち、検討しているのか。

町長 町商工会では、「牧場のしずく」「イチゴ」「鏡の雫の酒粕」等を使用したジェラードの開発をしている。今後は、移動販売車を導入し、商工会等の商品とともに販促活動や多様な商品開発を行っていく。町も、引き続き支援と協力を継続する。

質問 今後、農産物等を利用した商品化に向けて、具体的な取り組み策はあるのか。

町長 昨年度に引き続き、商品開発、販路開拓等に対し補助金とともに成功事例の情報収集・情報提供に努める。また、専門家の指導・助言を受け、町農産物・地域資源を使用したメニュー、レシピの研究を行い、ホームページによる情報発信を行う。さらには、岩農

質問 平成28年度中終了見込みだが、除染事業の進捗状況と側溝の除染はどうするのか。

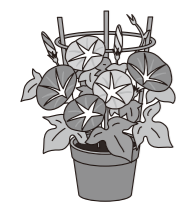
質問 平成28年度中終了見込みだが、除染事業の進捗状況と側溝の除染はどうするのか。

原子力災害対策室長 今年度は、JR東北本線の南東地区が対象となっており、約780件の住宅除染を、7月に業者決定・契約をし、29年3月末に完了予定。また、道路側溝約40kmは、3工区に分け発注の準備をしている。

町長 ホットスポットがあるので、全町内を除染対象とした。東側は、0.23以下が多い。会計検査院にも資料をあげ、低線量の側溝除染もできないか、担当課、4市町村、県で会議を行った。



鏡の雫の売り出しを





吉田孝司議員

- 「連携や戦略」町長の姿勢を問う
- 町の予防医学事業や介護予防はどのように進めるのか
- 「すいすい」の水温等適切管理を

一般質問

町長 毎年、議会と共同で福島県選出の国会議員の方々へ与野

町長 国（政府与党）に今後どのような戦略で、各種の陳情活動をしてくののか。

質問 国からの交付金や補助金などの面で、わが町が不利益を被ることはないか。

町長 町の課題解決の為に、与野党を問わず県選出の国会議員の方々へ毎年要望活動をしており、不利益を被る事実はないと考えている。

質問 近隣市町村の動向や首長との連携強化についてどのような状況にあるのか。

町長 県とは勿論、近隣とも連携を深め、経済的なつながりから県中地域との連携は必要不可欠であり、関係首長とも情報交換や政策連携を進めたい。

質問 党を問わず要望活動しており、今後も垣根を越えて行いたい。

質問 福島大学農学系学部誘致について、政治的な影響力が求められると思うが、今後の戦略はあるのか。

町長 政治的な影響力も大変大切なことだと思うが、議員各位の行動も大切な戦略ではないかと思っている。

質問 わが町の健康増進の効果が期待される既存ないし新規の予防医学事業について検討しているのか。

健康環境課長 第一次予防分野として健康教育・予防接種事業など、第二次予防分野として各種検診や人間ドック事業を実施しており、今後は関係団体と意見交換しながら取組みたい。

質問 ハッピーイートプログラム事業の現段階での効果・結果

質問 鳥見山球場についてスコアボードをはじめ、施設の改修は必要ではないか。

教育長 昭和51年完成以来40年が経過した施設であり、公園施設長寿命化計画において、鳥見山公園全体の改修計画の中で野球場の改修についても検討していく。

質問 交流・宿泊人口を増やすため、鳥見山公園の周辺に合宿センター等宿泊施設を建設する考えはないか。

教育長 今現在も合宿等で利用されている場合もあるが、町内または近隣の宿泊施設を利用しているようだ。合宿センターの設置については、当町規模の体育施設であれば、民間宿

健康環境課長 今まで訪問を中心に5月末まで64件90名を訪問し、減塩を意識して調理指導を実施している。今後は乳幼児からの事業展開を図りたい。

質問 肺炎球菌ワクチンの接種率とその予防効果について、どのように捉えているのか。

健康環境課長 65歳になられる方で、27年度は432名が接種しており、定期接種開始後、高齢者の肺炎患者数が減少した。

福祉こども課長 介護予防教室を実施し、認知症安心ガイドブックの配布や、初期症状のセルフチェックを行うと共に、包括支援センターにおいて個人の認知症

質問 不時沼公園の清掃計画としましては、週に一度、トイレ清掃及びゴミ拾いを日常点検の際に実施しており、日誌でも確認している。年間を通じて計画的に清掃管理を実施している。

都市建設課長 学童期の健康教育・食育には、どのような方法が講じられているか。また、肥満の割合や学校医の関与は、どうなっているか。

教育長 生活習慣の確立、給食時の食育指導、発達段階に応じた指導を行い、肥満と認められる12.5%の児童には、バランスのとれた食事や保護者への啓発等肥満解消に取組んでいる。また、学校医には専門的立場から指導を受けている。

質問 町民プールの水温がぬるく、有効活用できないとの苦情を聞いたが、管理体制と解決策は、どのように考えているか。

教育長 プール毎に設定水温があり、定時測定しているが、体感水温は年齢や体調、利用方法により異なる。機器の故障等が無いように努力し、気持ちよく利用できるよう努めたい。



木原秀男議員

- 進化する鏡石プロジェクト
- 「駅に降りて通りを歩き、住んでみたくなる」事業は…
- 検証する質問をします

質問 駅の階段を昇降する高齢者や障害者の為にエレベーターの設置は必要ではないか。

町長 現在は階段を利用せざるを得ない状況であり、高齢者や障害者の利用が困難な状況にある。JRに対して福島県鉄道活性化対策協議会を通じてエレベーター設置の要望を行っている。町単独での設置は、多額の費用を要する為、JRはじめ国・県へ要望したい。

質問 駅東の駐輪場は乱雑であり整理整頓すべきでないか、線路際の雑草もかなり生い茂っているので、環境整備が必要でないか。

総務課長 駅東口の未利用地の有効活用と利用者の利便性の向上を図るため、駅東口整備計画を進めており、駐輪場の整備や諸課題の解消に努めたい。町有地については随時除草を行っており、JR用地については除草を依頼している。

質問 梨池周辺の雑草、池の浮遊物そしてベンチの残骸等景観上問題だ。図書館周辺整備と併せて美化に努めるべきではないか。

都市建設課長 町の顔でもある観光スポット「田んぼアート」に直結した施設でもある。町外からの利用者も多いことから、より一層環境美化に気を配りたい。

質問 役場庁舎裏には色々な廃棄物が見られるが、整理整頓は必要でないか。

総務課長 放置自転車を保管したりしているが町のメインの施設でもあり、町民に愛されるよう、日頃から庁舎周辺の整理整頓に努めていく。

質問 成田街道の道路緑石際に雑草が見受けられる。コンクリートの隙間で容易でないが、駅東の景観上も除草が必要ではないのか。

町長 私も自ら清掃しているが、県道の道路管理者である須賀川市土木事務所に、除草について申し入れしている。

質問 鳥見山球場についてスコアボードをはじめ、施設の改修は必要ではないか。

教育長 昭和51年完成以来40年が経過した施設であり、公園施設長寿命化計画において、鳥見山公園全体の改修計画の中で野球場の改修についても検討していく。

質問 交流・宿泊人口を増やすため、鳥見山公園の周辺に合宿センター等宿泊施設を建設する考えはないか。

教育長 今現在も合宿等で利用されている場合もあるが、町内または近隣の宿泊施設を利用しているようだ。合宿センターの設置については、当町規模の体育施設であれば、民間宿

健康環境課長 今まで訪問を中心に5月末まで64件90名を訪問し、減塩を意識して調理指導を実施している。今後は乳幼児からの事業展開を図りたい。

質問 肺炎球菌ワクチンの接種率とその予防効果について、どのように捉えているのか。

健康環境課長 65歳になられる方で、27年度は432名が接種しており、定期接種開始後、高齢者の肺炎患者数が減少した。

福祉こども課長 介護予防教室を実施し、認知症安心ガイドブックの配布や、初期症状のセルフチェックを行うと共に、包括支援センターにおいて個人の認知症

質問 不時沼公園管理については苦情もある。年次清掃計画は必要でないか。清掃でも気遣い、心遣いは大切だ。喜ばれるような仕事をするべきでないか。

都市建設課長 散策路周辺には四阿（あづまや）やベンチ等の休憩施設が公園内に設置されているが、ベンチの設置計画はないが、今後とも利便性向上に努めていきたい。

質問 不時沼公園管理については苦情もある。年次清掃計画は必要でないか。清掃でも気遣い、心遣いは大切だ。喜ばれるような仕事をするべきでないか。

第4回鏡石町議会 定例会 審議の結果

議案件名等	議案の概要	結果	小林	吉田	橋本	古川	菊地	長田	畑	井川	大河原	今泉	木原	渡辺
小型動力ポンプ付積載車購入契約締結	小型動力ポンプ付積載車1台 契約金額788万円 契約相手 和田自動車株式会社	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28年度一般会計補正予算(第1号)	臨時福祉給付金及び元気キッズサポーター派遣事業等に2,075万円補正増	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<p>○吉田議員「補正予算の中に地域包括ケアシステム構築推進事業とあるが、事業概要を説明願いたい」 ＝A福祉子ども課長「認知症初期集中支援チームを設置し、天栄村と共同で取り組むもの。チーム活動により関係機関の連携が図られる」</p>														
28年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	国民健康保険税条例の一部改正による税額改正により3,903万円補正減	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員選任同意	監査委員の選任につき同意を求めもの 議会選出監査委員 木原秀男議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	
鏡石町議会政治倫理条例の制定について	鏡石町議会議員の政治倫理に関する条例を制定するもの	否決	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
<p><賛成討論要旨> 吉田議員「東京都知事があのような事態でお辞めになられた。全国の地方政治家のあるべき姿を求めたい。議員各位の見識ある見解を示していただきたい」</p>														
鏡石町議会会議規則の一部改正	鏡石町議会会議規則における質疑の回数及び方法を改正するもの	否決	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
<p><賛成討論要旨> 吉田議員「議案について理解を深めるためにも質疑回数を制限しないで、自由闊達に議論すべきと考える。議員各位の見識ある見解を示していただきたい」</p>														
福島大学農学系学部誘致特別委員会の設置	福島大学が開校を目指す農学部について鏡石町に誘致を図るため特別委員会を設置するもの	否決	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	
<p>○今泉議員「議会運営委員会全会一致で否決だが、福大農学部誘致は先見性があり、要望もしている。委員会ではそのような意見がなかったのか」 ＝A古川議運委員長「福大農学部誘致は天栄村と共同で進めているため、当町のみでの設置はしないこととなった」 ○今泉議員「天栄村と共同で進めているのは承知している。議会内部での検討はもっと必要と考える。この点要望する」 ○吉田議員「福大農学系学部誘致関係について、担当課として総務課を出席させ説明を求めたとあるが、担当として複数呼ぶべきではなかったのか。提案した意図が議運では理解されなかったのか。地域包括ケア関係も同じで、範囲は広範囲になると説明したのだから福祉子ども課以外にも招へいすべきではなかったか。また、委員会日程が変更となった理由は何か」 ＝A古川議運委員長「日程は一般質問が1日で終了したため、変更した。担当課については現在担当している課を呼んだ。地域包括ケア関連は時期尚早との判断であった」 ○吉田議員「担当課として1課ずつ呼ぶことは、ふさわしくないという趣旨から質問した。複数課を呼ぶべきと考えるがどうか」 ＝A古川議運委員長「今後はそのようにしたい」</p>														
<p><賛成討論要旨> 吉田議員「誘致について5月11日に要望している。静観してはやる気問われる。大学も県も結果を注目している。議会で特別委が設置されないのは、外から見てどう思うのか。委員会報告もあるが、本会議の議決で議員各位の見識ある見解を示していただきたい」</p>														
地域包括ケア推進特別委員会の設置	町の特性に合った地域包括ケア推進のため、広範な事項を調査するための委員会を設置するもの	否決	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
<p><賛成討論要旨> 吉田議員「地域包括ケアは実現は、なかなか難しい事業であり、もっと広範囲に検討されるべきである。福祉ばかりでなく、横断的な組織が必要である。介護、予防、住まい、医療等の問題があり、官民一体となって進めるべきである。改めて議員各位の見識ある見解を示していただきたい」</p>														
国からの被災児童生徒就学支援等事業交付金による十分な就学支援を要請する陳情	震災によって困窮している子どもの就学支援を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
労働時間と解雇の規制強化を求める陳情	労働時間短縮と安定雇用を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める陳情	全国一律最低賃金の確立と中小企業社会保険料減免等を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国からの被災児童生徒就学支援等事業交付金による十分な就学支援を要請する意見書	震災によって困窮している子どもの就学支援予算の確保	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
労働時間と解雇の規制強化を求める意見書	夜勤交替制労働規制強化、直接雇用の原則、解雇規制の強化を求めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	全国一律最低賃金の確立と引き上げ、中小企業社会保険料免除を求めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄



まちづくり計画を熱心に研修

地域ブランド推進等
行政視察研修実施

平成28年度の行政視察研修は7月11日(月)～13日(水)まで北海道豊浦町・当別町・新篠津村・由仁町の4町村にて研修を実施しました。豊浦町では薬草の里づくりでの生産者、薬品メーカー、町の官・民一体の取組がみられました。

当別町では、地域ブランドの推進とふるさと納税を研修新篠津村での土づくりを基本とした安全安心な農業。そして由仁町では『都市に近い田舎くらし』として移住・定住への取組みを研修しました。

議案件名等	議案の概要	結果	小林	吉田	橋本	古川	菊地	長田	畑	井川	大河原	今泉	木原	渡辺
専決処分の承認	町税条例の一部改正(軽自動車税額等)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	国民健康保険税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	27年度一般会計補正予算(第5号) (3月末の整理予算25,202万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<p>○吉田議員「臨時保育士の人件費が減額となったが、どのような理由か」 ＝A福祉子ども課長「年度中の入所児に対応するため当初予算を確保していたが、予想より入所児が少なかったことにより2名分減額した」 ○吉田議員「文教施設維持整備基金積立金を積立しているが、総額と使途はどうなっているか」 ＝A教育課長「基金積立総額は10,373万円となり、文教施設を改良するための積立である」 ○小林議員①「成年後見人等報酬助成減の理由は何か」②「被災者健康支援体制整備事業の記念品の内容は何か」 ③「農産物イメージ回復助成の内容は何か」④「避難所案内看板工事の内容はどうなっているか」 ⑤「全国学力調査の内容及び公表はするのか」 ＝A①福祉子ども課長「成年後見人は財産管理等を行うもので、実績は無かった」 ②健康環境課長「ラジオ体操参加者記念である」③産業課長「風評被害払拭のPR事業で事業費の1/2を限度に助成するものである」④「全国学力調査での町負担は無かった。公表の予定は無い」 ○小林議員「避難所の位置を示す看板は作成しなかったのか」 ＝A「23カ所に避難所看板を設置した」 ○吉田議員「文教施設基金に補正3千万積立したが、専決処分での積立は認められるものではないと思う。しっかりした理由を説明すべきでないか」 ＝A町長「事業執行に当たり、なるべく借金せずに行いたい。今後、学校のグラウンド整備や校舎改修が予想される」</p>														
専決処分の承認	国保会計補正予算(第5号) (3月末の事業実績により4,398万円を増額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	後期高齢者医療会計補正予算(第3号) (3月末の事業実績により14万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	介護保険会計補正予算(第4号) (3月末の整理予算1,730万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	工業団地会計補正予算(第3号) (土地売払収入により5,500万円を増額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認	駅東第一土地区画整理事業会計補正予算(第3号) (3月末の整理予算6,600万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<p>○吉田議員「保留地キャンセルの理由は何か。違約金はあったのか。住宅の着工状況はどうなっているか」 ＝A都市建設課長「6区画に対し13件申し込みがあった。5件契約したが、1件家庭の事情でキャンセルされた。契約前なので違約金は発生しない。着工は1件で2件確認申請が提出されている」 ○吉田議員「キャンセル分はどうするのか」 ＝A都市建設課長「28年度に2区画保留地があるので、併せて3区画分譲する予定である」</p>														
専決処分の承認	公共下水道会計補正予算(第4号) (3月末の整理予算2,879万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	離席
専決処分の承認	農業集落排水会計補正予算(第3号) (3月末の整理予算423万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	離席
一般会計継続費繰越計算書の報告	新地方公会計制度導入及び公共施設等総合管理計画策定事業のため270万円次年度へ繰越	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	原発事故による除染事業及び中学校大規模改修等9事業73,880万円が新年度での執行となった	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駅東第1土地区画整理事業特別会計繰越明許費計算書の報告	駅東第1土地区画整理事業の2,442万円繰越の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告	駅東第1土地区画整理事業区域内3,548万円の繰越の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計事故繰越し繰越計算書の報告	災害復旧工用地確定に不測の日数を要したため、事業を次年度へ繰越すもの	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道事業会計予算繰越計算書の報告	上水道事業会計予算の建設改良費5,900万円を工事の遅延により次年度へ繰越すもの	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正	国民健康保険税条例の均等割税額と平等割税額を増額改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	保育所等の不足に鑑み、保育所運営等の基準を緩和するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
放課後児童健全育成事業の設備及びに関する基準を定める条例の一部改正	放課後児童健全育成支援員の資格要件に義務教育学校教諭も入った。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道事業給水条例の一部改正	水道料金を20%値上げするもの	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<p>○吉田議員「5次拡張予算が38億から51億に増加したことは過去、説明があったのか。独立採算性のため、ある程度は理解するが、20%上げるためのしっかりした説明をお願いしたい。一般財源の繰入れや企業債等はどうか」 ＝A上下水道課長「事業認可は平成21年度で、消費税が上がり、震災以降資材人件費が高騰している。一般会計からの充当もあるが、今後検討したい」 ○吉田議員「一律20%ということも分かるが、一般世帯向けは少し緩和することはできないか」 ＝A上下水道課長「前回平成22年に料金見直しされているが、今回一般向けのアップは、大きな影響は無いと判断した」 ○今泉議員「平成22年3月までの料金と今回の価格の差はどうなっているか。報酬はアップし、水道もアップでは批判されるのではないか」 ＝A上下水道課長「平成21年度まで10ℓ1,200円だった。22年には5ℓ700円、営業用で20ℓ3,000円。認可時の事業費は38億円だった」 ○今泉議員「今回31年までとの説明あったが、32年に再値上げになると理解してよいか」 ＝A上下水道課長「算定期間は4年間と考えている。現実的にさらなるものが必要な現況である。一度に値上げするのはあまりに影響が大きいので4年間とした」</p>														
中学校校舎大規模改修工事(2期)請負契約の締結	契約金額 23,328万円 契約相手 国分木材工業株式会社	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<p>○吉田議員「入札金額を教えてください。変更が出てくる場合、一般常識としてどのくらいの変更なら理解できるのか。また、契約業者が本宮市の業者で資材搬送等における心配はないか」 ＝A教育課長「高田工業24,840万、三金工業26,676万、渡辺建設24,980万、笠原27,162万、国分木材23,328万円。改修工事であるので、もし変更があれば早めに報告したい。搬送等は設計には入れていない」</p>														

* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄